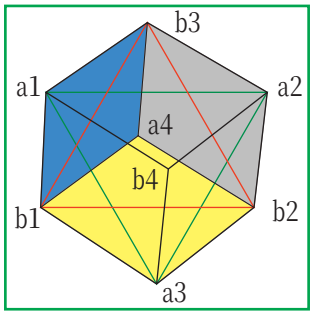


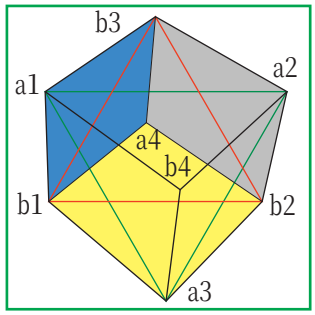
pronity280/10/10.37の立方体

平行に近い放射線

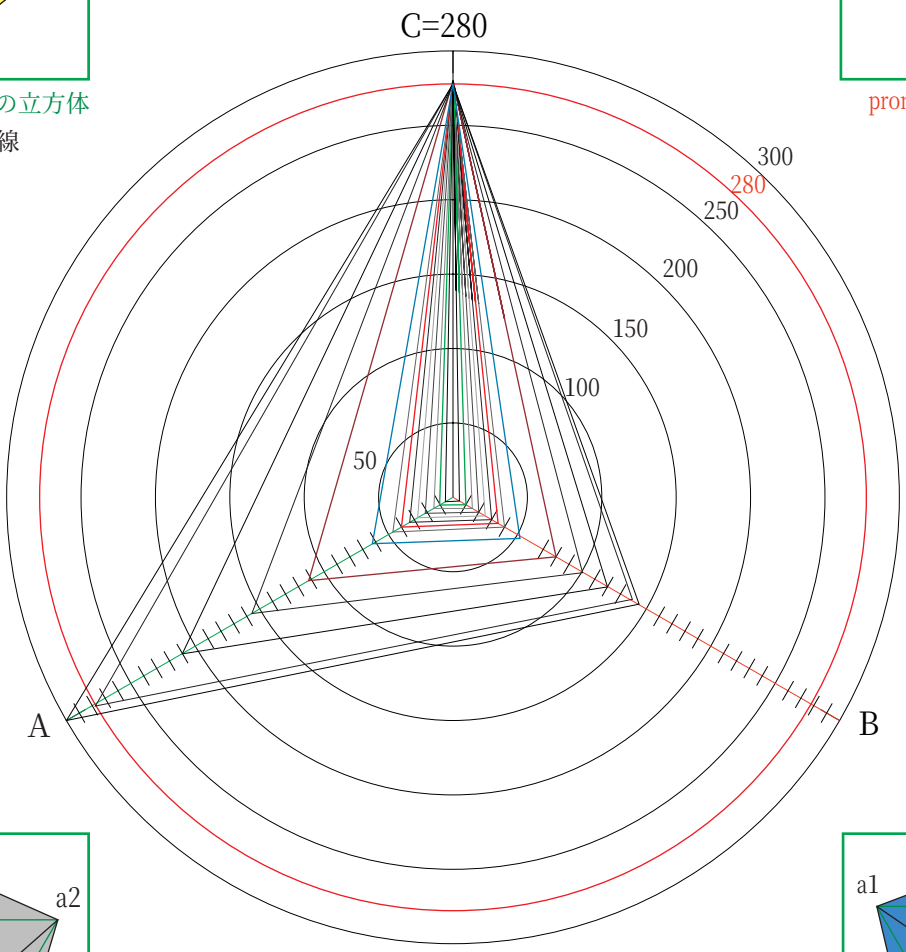
レーダーチャートによるプロニティー数

＜立方体の稜線の変化と3つの正三角形の比例数値＞

チャートの三角形は、ヘキサグラムを構成する正三角形A.Bと焦点となる正三角形Cの３つの正三角形の1辺の数値を表したものです。チャートの同心状の三角形の形の変化は、この比例で描いた立方体の形の変化に対応しています。



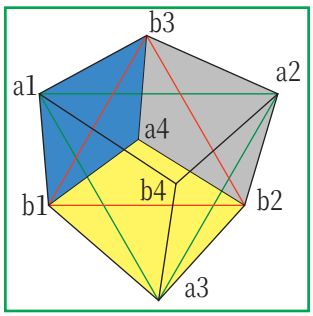
pronity280/35/40の立方体



放射線の角度が、視覚的に自然と捉えられるのは、チャートの同心状の三角形の形が崩れない範囲。

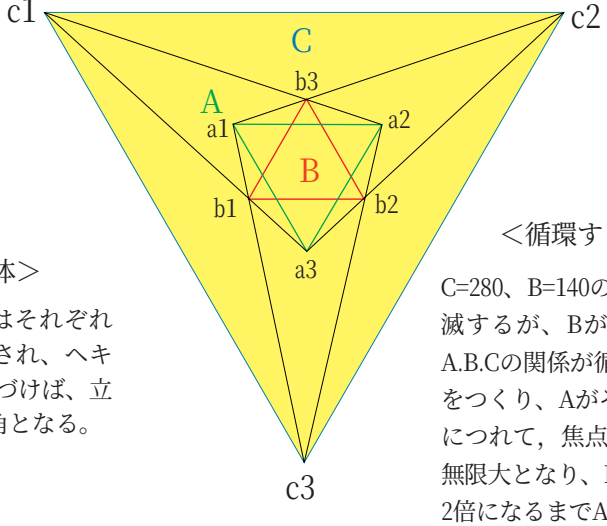
pronity
C/B/A

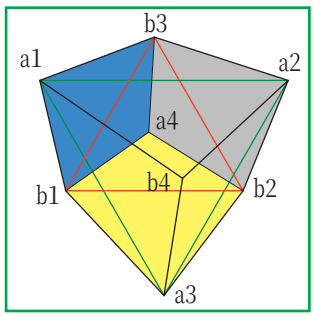
280/5/5.09
280/10/10.37
280/15/15.85
280/20/21.53
280/25/27.45
280/30/33.6
280/35/40
280/40/46.66
280/50/60.86
280/80/112
280/100/155.55
280/120./210
280/140/280
280/145/300.74



pronity280/50/60.86の立方体

C=280 A=81.75 B=63.28





pronity280/80/112の立方体

鋭角な放射線

＜ヘキサグラムの形と立方体＞

正三角形Cを固定した時、A.Bの値はそれぞれCとの関係において、相対的に決定され、ヘキサグラムA.Bの大きさがCに対して近づけば、立方体の稜線となる放射線は、より鋭角となる。

＜循環する3つの正三角形A.B.C＞

C=280、B=140の時に、A=280となり立方体の形は消滅するが、Bが140を超えると、Aは280を超え、A.B.Cの関係が循環して、今度はB.Cがヘキサグラムをつくり、Aがその焦点となる。Bの値がCに近づくにつれて，焦点のなるAの値は大きくなり、B=Cで無限大となり、BがCを超えるとAは又現れ、BがCの2倍になるまでAは収縮を続け、2倍を超えると、A.Cがヘキサグラムをつくり、Bが焦点の関係となる。このように、A.B.Cの関係は無限に循環します。